

広 監 第 1 5 号  
令和 6 年 1 2 月 6 日

広陵町議会議長 谷 禎一 様

広陵町監査委員 赤 銅 修  
同 千 北 慎 也



令和 6 年度定期監査の結果について（報告）

地方自治法第 1 9 9 条第 1 項、第 4 項及び第 7 項の規定に基づく令和 6 年度の定期監査を実施したので、同条第 9 項の規定により、その結果を別紙のとおり報告します。

令和6年度

# 監査結果報告書

広陵町監査委員

地方自治法第199条第4項に基づく定期監査結果

1 定期監査執行期日及び監査の対象

監査年月日	監査の対象
令和6年10月15日	リレーセンター業務課・協働のまちづくり推進課・ 税務課
令和6年10月16日	生涯学習課・中央公民館・スポーツ振興課
令和6年10月17日	教育総務課・介護福祉課・社会福祉課
令和6年10月21日	総合政策課・けんこう推進課・子育て総合支援課
令和6年10月23日	環境政策課・秘書人事課・農業振興課
令和6年10月30日	議事課・こども政策課・こども課
令和6年10月31日	上下水道課・会計課・産業総合支援課
令和6年11月6日	真美ヶ丘第二小学校・広陵中学校・南保育園・ 東小学校附属幼稚園
令和6年11月13日	都市整備課・図書館・総務課
令和6年11月14日	安全安心課・保険年金課・住民課
令和6年11月18日	広陵町・香芝市共同中学校給食センター

・書面にて審査を行った課（かい）

真美ヶ丘第一小学校附属幼稚園、真美ヶ丘第二小学校附属幼稚園、北かぐやこども園、東小学校、西小学校、北小学校、真美ヶ丘第一小学校、真美ヶ丘中学校

## 2 監査の場所

広陵町役場 3階第1会議室及び各出先機関

## 3 監査の方法

監査対象の各課（かい）において、令和6年度における事務事業の執行状況及び令和5年度の課題に対する対応状況等について提出された監査資料に基づき監査を実施した。

併せて、関係書類及び帳簿等の処理方法について審査を実施するとともに、担当課（かい）長及び担当者から事情聴取を行った。

## 4 監査の結果

令和6年度上半期の事業執行については、各部署において適正かつ効率的に執行されている。事務事業の進捗状況において、現状遅れは見当たらず、適正な進捗管理がなされていることを確認した。引き続き、計画的な事務執行に努められたい。

団体補助金について、年間の町補助金額を超える次年度繰越金が発生している団体もあることから、補助金額の適否、及び返還等の精算について検討されたい。

前年度と比べて多少改善はされているが、令和5年度決算においても一般会計において6億円を超える多額の不用額が見受けられたため、適切な執行管理について徹底して取り組まれたい。

引き続き、予算の執行にあたっては、事務事業の見直しを積極的に進め、常に費用対効果を考慮し、徹底した節減に取り組まれたい。

事情聴取を行った課（かい）に対しての個別の監査の結果は次頁以降のとおりである。

## リレーセンター業務課

### 今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

家庭用生ごみ処理機等設置費補助金事業について、申請件数が減少している。需要としてはあるものの、周知が不足していたとのことであるので、分別方法、ごみの減量化の啓発と併せて、広報紙・町公式LINEアカウント等を活用して周知されたい。

また、今後は再生資源集団回収助成金の単価の増額と併せて増枠することを検討されるとのことであり、予算との兼ね合いもあると考えられるが、ごみの減量化につながる施策を推進されたい。

ごみ減量等推進審議会において、広域ごみ処理施設の稼働によって、ごみ処理手数料の今後について議論されているとのことであった。

ごみ処理手数料収益の用途や、無償化の是非等、今後審議を重ね、住民から理解を得られる結論を出されたい。

### 前年度の課題への対応

生ごみの水切りについて、広報紙や町公式LINEアカウント等での啓発の結果、令和5年度においては搬入ごみ量が2.7%減少していることから、一定の成果が出ていることが認められた。

ペットボトルや容器包装プラスチックについても、啓発の結果、年々処理後の残渣量が減ってきている。引き続き分別についても周知を継続されたい。

### 予算執行状況

適切に執行されていた。

### その他

ごみ出しアプリについては登録世帯数が30%を超えており、順調に利用者が増えているとのことであった。

## 協働のまちづくり推進課

### 今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

今年度も地域担当職員を活用して地域の課題やアピールポイントを聞き取りし、コミュニティカルテの更新を行っておられる。  
コミュニティカルテは、地域特性や、今までの経緯や取組について確認できるものとなっており、地域の役員等の引き継ぎに活用できるものとなっている。  
引き続き、自治基本条例の根幹のひとつである「協働のまちづくり」をスローガンに、町民と行政間や行政内部間において事業連携できるよう、町民への発信、庁内での情報共有に努められたい。

自治基本条例という名称だけでは、目的がわかりにくく、親しみを持ちにくいという声もあるとのことであった。推進会議においても今後話し合っていくということであるが、町民にとって親しみが持てるような工夫されたい。

### 前年度の課題への対応

「まちづくり協議会設立から運営までのハンドブック」と「条例制定や計画策定の際の住民参画のハンドブック」の2つのハンドブックを作成され、区長・自治会長会で配付し、活用を促されたとのこと。

まちづくりに参画する住民が多ければ多いほど、できることも多くなるため、より多くの方にまちづくりに関わってもらえるよう、引き続き、興味・関心を持たせる工夫を継続されたい。

まちづくりに協力的か否かは地域性が出るころではあるが、その地域の特性に合わせた方法で、行政と住民の協働を推進されたい。

### 予算執行状況

適切に執行されていた。

### その他

特になし。

## 税務課

### 今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

定額減税に係る調整給付金については、当初の予定どおり 8 月に確認書の発送及び支給を開始されており、遅延なく事務を進めておられる。  
なお、全体の 1 割程度が確認書の未提出のため未支給とのことである。対象者全員に支給できるよう、引き続き、申請勧奨を継続されたい。

資産税においては、他課、他係と連携しながら、課税漏れがないよう確認を取りながら事務を進められている。

令和 6 年 8 月から、奈良県中南和県税事務所より職員の派遣を受けて、高額滞納者について滞納整理を行っておられる。令和 6 年 1 2 月までの派遣とのことであるが、滞納整理に対するノウハウを吸収できるよう努められたい。

### 前年度の課題への対応

前年度に引き続き、確定申告受付を事前予約制で実施されている。  
また、課員全員が申告受付対応できるよう勉強会を開催するなど、職員のスキルアップにつながる取組も継続されている。

国税庁においてはスマートフォンやパソコンを利用した e-TAX での確定申告を勧奨しており、税務署も休日受付を縮小していることから、役場の申告会場としても、休日受付を縮小することについて検討されている。  
e-TAX での申告について周知を強化したうえで、引き続き、申告受付実施の方法について検討されたい。

### 予算執行状況

適切に執行されていた。

### その他

特になし。

## 生涯学習課

### 今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

今年度は「人権のつどい」「PTA指導者研修会」「生涯学習セミナー」を合同開催するなど、より多くの層に参加していただくための試みをされていることが認められた。

若年層に文化祭への認知度向上を図るため、GIGAスクール構想で全生徒に貸与されているクロームブックを活用して、中学生からポスターデザインを募集されている。文化祭の出展者の高齢化及び固定化が課題となっていることから、引き続き、幅広い年齢層に参加してもらえる文化祭となるよう、関係機関と協議し、開催方法について検討されたい。今後、民間施設との連携についても検討されたい。

社会教育委員と協力しながら、民謡、ふるさとの言葉、祭りなど、町に係るさまざまな冊子を作ってきておられる。今年度は「広陵町の風景」をテーマに冊子を作成する予定とのことである。テーマの公募についても今後検討されたい。

### 前年度の課題への対応

二十歳のつどいについて、町の特産品である靴下を実行委員と共に作成し、参加者全員に記念品として提供されるなど、シビックプライドの醸成につながる取組が認められた。

今後も「参加者が社会の一員となることの自覚を促し、自立心を養う」ことができるよう、引き続き、実行委員と密に連携を取りつつ、心に残る式典となるよう検討されたい。

### 予算執行状況

適切に執行されていた。

### その他

団体への補助金について、補助金の使途内容について適切なものとなっているか再度、決算状況等を確認されたい。

## 中央公民館・スポーツ振興課

### 今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

今年度から子どもシゴト体験博と子どもチャレンジデーとを一本化して「おしごとチャレンジデー」として開催しており、参加者数は以前の形態より増加しているとのことであった。

引き続き、普段は公民館に足を運ばない層にも公民館に親しみを持っていただけるような取組を続けられたい。

町民体育大会から、スポーツフェスティバルへ変更となって今年度で3回目となるが、お年寄りから子どもまで誰でも気軽に参加できる内容となっていることや、体力測定を盛り込んでいることから、参加者の健康づくりのきっかけとなっている。参加者からも概ね好評とのことであるので、引き続き工夫して実施されたい。

### 前年度の課題への対応

令和5年度については、中央公民館開館50周年という節目の年でもあり、様々な主催事業・教室・講座を開催し、年代を問わず中央公民館を利用していただけよう取り組まれたとのことであった。

参加体験型教室への参加を募るためにSNS等を活用されているとのことであり、様々な年代に公民館を利用していただけよう取り組まれている。

令和5年度の使用料の改定（料金設定の細分化、町外利用者料金の設定等）もあつてか、体育館利用者数は前年度比9%減となったとのことであった。

### 予算執行状況

適切に執行されていた。

### その他

公民館運営審議会について、公民館運営に対する住民の審議の場としての設置目的であるため、今後定期開催するべきものであることを指摘した。

## 教育総務課

### 今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

今年度から真美ヶ丘中学校の水泳授業について外部委託を開始している。指導側のスキルの問題やプール自体の維持管理に係る費用の観点から、今後、他の学校でも外部委託についても検討されるとのことであった。費用対効果を勘案しながら、計画的に実施されたい。

令和7年度にGIGAスクール端末の更新時期を迎えるとのことであった。機器の管理方法や故障時の対応等、導入時に課題となった点について考慮するとともに、より効果的な学習教材となるよう新しい学習ソフトの情報収集を行っておられる。全ての生徒、教員にとってより良いものとなるよう、十分に検討の上、適切に実施されたい。

### 前年度の課題への対応

小中学校の照明等について、ESCO事業の手法を取り無事に更新が完了している。また、施設の老朽化に伴って、突発的な修繕が増えてきているとのことであったが、公共施設の包括管理により、早急かつ効率的な修繕が可能になっているとのことである。

物価の高騰によって、給食費の値上げの検討が必要となっている。小学校給食については令和5年4月から値上げとなったものの、町からの補助金を増加したため、実質的な保護者負担は変更となっていない。今後も物価上昇の懸念はあるため、慎重に審議されたい。

### 予算執行状況

適切に執行されていた。

### その他

広陵中学校の不登校生徒について、真美ヶ丘中学校と比べて多い現状である。原因について研究し解決策を講じられたい。

## 介護福祉課

### 今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

介護認定調査について、調査件数については横ばいとなっているものの、若年層のケアマネジャー資格取得者の減少傾向があり、ケアマネジャーの高齢化等による人手不足により認定調査に協力していただける事業所も不足しているため、町職員が認定調査に赴くことが多くなっているとのことであった。今後も高齢人口の増加とともに認定調査の件数については増加していくものと思われることから、人事担当課と連携しながら、人員確保に努められたい。

長寿・健康増進事業として、健康診査結果説明及び栄養相談を毎月実施しており、個別指導により、重症化を防ぐきっかけとなっている。また、個人毎に人工知能を用いてレセプトデータや健診受診歴を分析し、効果的かつ効果的な健康診査受診勧奨により行動変容を促していることを確認した。

### 前年度の課題への対応

介護予防リーダーについて広報紙に加えて町公式LINEアカウントでの周知を始めたことで受講者は年々増えてきているとのことであった。

認知症相談窓口でアンケートを実施した結果、地域で集える場がほしいとの声があり、認知症カフェの立ち上げ支援や周知を実施されたとのことであった。令和5年度には住民主体の認知症カフェが1つ立ち上がるなど、認知症になっても地域で生活できる体制の形成に努められていることがうかがえた。

### 予算執行状況

適切に執行されていた。

### その他

特になし。

## 社会福祉課

### 今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

障がい者手帳取得者の増加だけではなく、介護給付等の障がい福祉サービスや障がい児通所サービスの利用についても年々需要が増え続けているとのことである。サービスを利用することが適正なのか個々の事例に対して判断を求められる場面も多く、対応する職員が福祉サービスの本質を深く理解している必要があるとともに、職員のアセスメント能力が求められる高度な事務となっている。研修参加や課内でのノウハウ共有により、どの職員でも一律に適切な支給決定ができるよう努められたい。

障がいの多様化により、地域の相談支援事業者も対応に苦慮するケースが増加しているとのことであり、管内の相談支援事業所を対象に定期的に勉強会を開催し、事業所職員のスキルアップを図っておられる。

### 前年度の課題への対応

令和7年度からのこども局、教育総務課、けんこう推進課のさわやかホール2階への移転に係る2階の工事について、順調に進捗しているとのことであった。

本町においては他市町村と比べて、障がい福祉事業所への事務作業等に該当する仕事の委託が少ない状況であったが、庁舎周辺の除草作業を委託しているなど、改善が見られた。今後も受託可能な役務がないか、投げかけられるとのことであった。

相談支援には専門的知識が必要であるが、現状専門職の正職員が1名であり苦慮されていることがうかがえた。人事担当課と連携し、専門職の採用に努められたい。

### 予算執行状況

適切に執行されていた。

### その他

特になし。

## 総合政策課

### 今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

D X推進の中心となる「D X推進リーダー」を各課において1名任命して、自ら業務改善やD Xを活用した新たな政策立案を行える人材の育成を図るなど、町全体のD X推進を進められていることがうかがえた。

令和7年3月に町公式ホームページのリニューアルを予定しており、手続きナビゲーション等の便利な機能の導入により、住民が行うべき手続きにおけるオンライン申請への誘導及び手続きの窓口の明確化を実施されるとのことであった。

令和6年度から公共施設包括管理を奈良県で初めて実施されており、維持管理業務における早急な対応及び専門知識を踏まえた修繕対応が可能となっている。

### 前年度の課題への対応

北葛城郡4町の連携で「ほっかつ御墳印帖プロジェクト」を開始している。プロジェクトのプロモーション動画の制作、首都圏での周知活動、イベントの開催を実施されており、広域的な連携が認められた。

広報紙について、今後の配付方法に関して検討を継続されており、デジタル広報紙への移行や、全戸配付への移行等、様々な方法を検討されているとのことであり、今後モデル地区を定めて実証実験を行うことも予定されている。各配付方法にメリット、デメリットがあると考えるが、引き続き、区・自治会と協議を継続しながら、多くの住民に広報紙を閲覧いただける仕組みづくりについて検討されたい。

### 予算執行状況

適切に執行されていた。

### その他

特になし。

## けんこう推進課

### 今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

広陵元気塾について、令和5年度より定員をなくし、コロナ禍前と同様に予約なしで参加可能とした結果、徐々に参加者は増加し、コロナ禍前の状態に戻りつつあるとのことであった。また、「骨折ゼロのまち」を目指す本格的取組のスタートの年として、「骨折ゼロ作戦」「骨強化作戦」といったテーマを中心に、運動・栄養の両面からアプローチしているとのことで、民間企業から外部講師を招へいするなどの参加者の生活改善につながる取組が認められた。

### 前年度の課題への対応

がん検診受診勧奨事業として、コール・リコール事業を再開しておられる。コール事業として、30歳代女性に子宮がん検診、40歳～65歳の5歳刻み年齢対象に5大がん検診を勧奨し、リコール事業として、30歳代女性に子宮がん検診、50歳～65歳の5歳刻み年齢対象に肺がん検診を勧奨しておられる。今後も引き続き、受診勧奨と受診体制の整備を続けられたい。

若年者健康診査について定期的実施されており、前年度は定員割れがあったが、今年度の6月実施分については全日程定員に達したなど、十分な周知ができていたことがうかがえた。

### 予算執行状況

適切に執行されていた。

### その他

特になし。

## 子育て総合支援課

### 今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

今年度から子育て家庭総合支援拠点と母子保健包括支援センターの機能が一つとなったこども家庭センターを設置し、センター長と統括支援員を配置するなど充実が図られている。これにより、町内の子ども及びその家庭並びに妊産婦等に対して効果的で切れ目のない一体的な相談支援が可能となっているほか、虐待には至らないもののリスクが高いケースについても関係機関と連携しながら管理ができていたとのことであった。

要保護児童対策地域協議会で管理しているケースの件数が増加していることにより、実務者会議が従来の回数では足りなくなっており、今後、実務者会議の開催方法について検討する必要があるとのことである。

近隣市町村や本町より人口規模が大きい市町の手法を参考としながら最適な方法を検討されたい。

### 前年度の課題への対応

なかよし広場については、月1回の広陵北かぐやこども園での講座で利用者に対しアンケート調査を実施、分析し、より魅力的な講座の開催に努めておられるとのことであった。

また、今年度からは、毎月「なかより広場だより」を作成し、各種広場で配布するとともに、町公式ホームページや町公式LINEアカウントでの配信を行っているほか、月1回「すこやか相談」を実施し、子育て中の悩みに応じているなど、子育ての不安の解消及び子育てが楽しいと感じられる機会の提供に努められていることがうかがえた。

### 予算執行状況

適切に執行されていた。

### その他

特になし。

## 環境政策課

### 今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

屋外広告物への対応について、既存不適格となった物件が是正に向けて進んでいるなど、継続的な指導の成果が見受けられる。

現施設の跡地利用については、ごみ処理委員会からの提言書の提出を受け、費用対効果も考慮して民間活用のサウンディング調査などを行っているとのことであり、有効活用に向けて引き続き検討されたい。

山辺・県北西部広域環境衛生組合については、順調に推移していると認められるが、まほろば環境衛生組合については、工期延長による操業時期の変更が余儀なくされている。引き続き、適切な状況把握、関係市町村等との連携に努めるとともに、地元協定などの対応についても慎重を期されたい。

### 前年度の課題への対応

昨年度監査における意見を踏まえ、空き家コンシェルジュの効果的な運用に配慮されたい。

クビアカツヤカミキリへの対応について、環境省補助金の活用などにより被害の軽減に努められたい。

### 予算執行状況

適切に執行されていた。

### その他

団体への補助金について、繰越金が多額となっているものについて継続して補助を行う必要があるのか引き続き精査されたい。

## 秘書人事課

### 今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

病気休暇や中途退職される職員も見られるとのことであり、退職に至る事情を把握して分析の上、改善すべき事項があれば改善のための措置を講じるとともに計画的な採用にも努められたい。

特に専門職の欠員が生じている部署については、業務運営上の影響が多大であると思われ、募集方法等についても十分検討の上、適時に補充採用できるよう対応されたい。

また、賃金が課題となる退職を阻止する対応として、副業の解禁などについても、先進事例をもとに研究することも検討されたい。

### 前年度の課題への対応

業務に習熟した職員が少なく、経験の浅い職員で構成されている課が見受けられる。

若いうちに2～3年程度で幅広く業務を経験させてオールマイティーな職員を養成することに主眼を置いているとのことであるが、ゼネラリストとスペシャリスト双方を養成する複線型人事の視点も取り入れた人材養成も検討し、その上で課ごとの人員配置のあり方につき引き続き研究されたい。

### 予算執行状況

適切に執行されていた。

### その他

特になし。

## 農業振興課

### 今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

寺戸地区について、ゾーン設定を契機にイチゴ農家の参入による観光農園の拡大を目指しており、農業塾の修了生も参入されるなど取組の成果が表れてきている。イチゴ栽培に適した南北畝のほ場へのイチゴ農家貼り付け完了に続き、他区画への拡張についても地権者と協議を進められたい。

ストロベリータウン広陵として、パンに適した小麦粉栽培の成果としてのパンとイチゴのコラボなど、新たな取組が見られる一方で、イチゴ栽培自体が町外事業者中心の展開となっていることによる本町財源への影響についても念頭に置いて施策展開されたい。

特定農業振興ゾーンについて、決定した担い手が何らかの事情で営農を継続できなくなった場合等に振り分けた農地が遊休農地にならないような仕組みづくりを検討されたい。

### 前年度の課題への対応

特定農業振興ゾーンについて、百済川向地区においては、ブロックBにおいて本年11月からの営農開始に向けて10月中の完了を予定しているなど、事業の進捗が認められた。残るブロックCについても、関係機関とともに協議を続けられたい。

遊休農地の抑制のため、土地所有者の農地の利用状況及び今後の営農についての意向確認、遊休農地解消のための補助金の活用によりマッチングに至る例もあるなど一定の成果が上がっている。引き続き遊休農地の解消及び農地の集約に努められたい。

町内農業を存続するためには、いかに担い手を見つけていくかが最大の課題となる。引き続き、農業を始めるきっかけづくりや後継者の育成支援に力を入れていかれたい。

### 予算執行状況

適切に執行されていた。

### その他

特になし。

## 議事課

### 今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

前年に引き続き、議会事務局として、議会の円滑な運営、議員活動に必要な支援調査、議会活動の報告などを適正に行っておられることがうかがえた。

議会における会議の内容や経過など、さまざまな情報を町民へ提供し、議会に対する理解を深めることを重要視されており、議会だよりの発行においては議会でのやり取りをわかりやすく、親しみやすさを持ってもらえるようデザインの趣向を凝らしているとのことであった。

引き続き、議会への理解を深めるための取組を継続されるとともに、議員へのサポートについても円滑に努められたい。

### 前年度の課題への対応

令和5年11月25日に若者議会を開催し、町内で活動されている大学生・主婦・なす農家等19歳から32歳までの男女9名が参加され、待機児童の実態、農業支援、地域活性化によるまちづくりの推進、こどもまんなか社会の実現等の内容について一般質問を行ったとのことであり、これにより、若者を中心とした町民のとの直接的な対話を通じて議会への理解や関心を深めることができたとのことであった。

引き続き、様々な層の町民の声を直接聴く機会を創出し、議会を身近に感じていただけるよう努められたい。

### 予算執行状況

適切に執行されていた。

### その他

特になし。

## こども政策課

### 今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

令和5年4月に施行されたこども基本法にて、「市町村こども計画」を定めるよう努めることとされていることから、本町でもこども政策課にて「広陵町こども計画」策定に向けて事務執行されている。策定業務委託業者の選定については完了済みであり、「広陵町こども計画」の一部となる「子ども・子育て支援事業計画」の現行計画の評価と次期計画に向けての審議を「広陵町子ども・子育て会議」内で行うなど、着実に準備を進められていることがうかがえた。

今後、町内の小学5年生、中学2年生及びその保護者向けにアンケート調査を学校を通じて実施するとともに、町内の若者（15歳～39歳）向けにアンケート調査を実施する予定をされている。

アンケートだけではなく、子供に寄り添った、理解しやすい意見聴取の方法も実施されたい。

また、分析結果を反映し、実情に即した計画となるよう努められたい。

### 前年度の課題への対応

令和6年4月1日より発足した課のため、記載なし。

### 予算執行状況

適切に執行されていた。

### その他

特になし。

## こども課

### 今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

令和5年4月に畿央大学附属広陵こども園が開園し、保育の受け皿は町全体として拡大したが、現在も待機児童が生じている状況である。令和6年9月1日現在で待機児童が13人発生しており、前年に引き続き保育ニーズは高くなっている。引き続き、保育の受け皿の確保に努められたい。

令和8年4月から広陵東小学校区でも、ときわ広陵こども園の開園を予定されている。それに伴い、町立の広陵南保育園及び広陵東小学校附属幼稚園に在園する園児は新しいこども園に転園する必要がある、連携を密にして園児の負担を最大限減らすことができるよう努められたい。

### 前年度の課題への対応

令和6年度の放課後子ども育成教室利用者が、全てのクラブで定員を上回っているとのことであった。小学校の図書室や他教室を借受けて受入可能人数を拡充して運営するなど工夫しておられるものの、引き続き、実施場所の検討が必要となっているとのことであった。

放課後子ども育成教室の民間委託について保護者より請願があるなど、不安を抱えられている保護者もいる。今後も委託教室を拡大させていく予定であるとのことであるが業者との密な連携、周知説明により保護者が不安を抱くことのないよう努められたい。

### 予算執行状況

適切に執行されていた。

### その他

教育充実費に係る補助期間の終了に伴い保護者に混乱が生じている。保護者への周知方法について、町と園の協議が足りていなかったものと考えられるため、今後、官民連携事業で開園する園については協議を徹底されたい。

## 上下水道課

### 今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

令和7年度からの下水道料金の値上げについては、町民等への丁寧な周知説明に努められたい。

滞納処分のフローを徹底するとともに、税務課、住民課とも情報共有しながら、積極的に給水停止処分や滞納処分を行い、滞納者の数は減少しているとのことであった。

住民票が本町に移されていない方で閉栓手続を取らずに無断で退去された場合に支払い残っていれば、追跡調査が困難であったが、開栓時に本人同意のもと個人情報わかるものを提出いただくなど、対策を講じておられることがうかがえた。

### 前年度の課題への対応

令和7年度にスタートする県域水道一体化に向けて、県と市町村で協議を進めていたところ、新知事から統合後の財政シミュレーションや統合のあり方について疑義があることから、事業の進め方を再検討する事態となっていたが、現在は知事の疑義は解消しており、順調に進んでいることがうかがえた。

今後については、経営状況を勘案し、5年サイクルで料金の見直しを検討していくことに決定したとのことであった。

一体化に向けて住民に混乱がないよう努められたい。

### 予算執行状況

適切に執行されていた。

### その他

特になし。

## 会計課

### 今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

前年度に引き続き、事務執行について遅滞及び遺漏なく適切に処理しておられる。

令和7年1月から公共料金明細サービスの運用を開始し、電気料金をはじめとする公共料金の支出について自動で伝票起票ができるようにすることで、事務の軽減が図れるなど、日常業務の効率化に積極的に取り組んでおられることがうかがえた。

### 前年度の課題への対応

新伝送システム及び新財務会計システムの運用を開始されているが、特に問題もなくスムーズに運用ができているとのことであった。

例年課題となっている備品管理についても、新財務会計システムでの管理を開始しているとのことである。また、購入時の支出伝票処理の際に自動的に新規備品として登録されるシステムとなっており、今後は登録漏れのおそれはないとのことであった。

### 予算執行状況

適切に執行されていた。

### その他

特になし。

## 産業総合支援課

### 今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

昨年度作成した「広陵くつした」ブランディング支援の戦略に基づき、SNSの有効活用やインフルエンサーとのコラボレーションにより、広陵町の靴下産業のブランド化及びプロモーションを進められている。引き続き、意欲のある事業者の育成、ブランドの周知に継続して取り組まれない。

ビジネスサポートセンターについては、年間1,000件程度の相談を行っており、課題解決件数についても昨年度と比べて大きく伸びているとのことであった。センター長に関する評価委員会を毎年実施しており、今後も引き続き適切な管理を続けられたい。

### 前年度の課題への対応

広陵町産業総合振興機構「なりわい」については、ふるさと納税管理業務・地域振興券事業・「広陵くつした」ブランディング支援事業等の委託業務について適宜進捗管理を行い、円滑に事業を進められているとのことであった。

また、これまでの取引実績を活かし、町の観光戦略を取り込んだインバウンド観光コンテンツ造成を自主事業として行っており、その結果、3つの靴下事業者の工場や販売所での体験型観光コンテンツが誕生するなど、町の特色や強みを生かした地域活性化に資する役割を担っていることがうかがえた。

引き続き、緊密な連携を続けられたい。

### 予算執行状況

適切に執行されていた。

### その他

特になし。

# 真美ヶ丘第二小学校

## 今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

クロームブックの破損や弁償の対応が毎年あり、特に、新1年生は中学3年生から卒業時に返却されたものを使用することになっていることから、劣化による対応がとても多いことに苦慮されている。故障・破損による弁償について保護者に理解を求めるも、修理費用が高額なこともあってか、なかなか納得いただけないこともあり、対応に苦慮していることがうかがえた。  
弁償に対する保険の加入等、今後の対応について、教育総務課と協議されたい。

スクールカウンセラーを利用する保護者や児童が多くなっているとともに、特別支援学級の生徒も増えているとのことであったが、インクルーシブ事業や教員とスクールカウンセラーの連携により、より一層児童や保護者の心のケアに当たることができていることが認められた。

## 前年度の課題への対応

業務支援員の導入によって、教員の事務負担はある程度軽減できているものの、引き続き、人員不足に苦慮されていることがうかがえた。

コロナ禍の影響で外で遊ぶことが減ってきたからか、児童の体力は落ちてきているとのことであった。体力テストの結果も県平均よりも低くなっている。  
引き続き、対策を講じられ、児童の体力向上に努められたい。

## 予算執行状況

適切に執行されていた。

## その他

特になし。

# 広陵中学校

## 今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

昨年度に引き続き、不要箇所のこまめな消灯、朝の勤務開始時までの校内全館消灯、昼食時間帯の職員室消灯、なるべく早い退勤奨励及び屋外灯の点灯時間短縮を実施し、光熱費の節約に努めておられる。

施設・設備の老朽化及び経年劣化により、建物設備の破損、故障や雨漏り等が頻発してきているとのことであるが、令和6年度からの公共施設包括管理によって、対応については早くなっているとのことであった。しかし、包括管理では対応できない備品の故障や大規模な修繕については修繕できていないものも多いとのことである。引き続き、教育総務課と協議の上、優先順位をつけて計画的に予算要求されたい。

## 前年度の課題への対応

真美ヶ丘中学校と比べて、不登校生徒が多い現状である。地域性等様々な要因があるとは考えられるが、原因について研究し解決策を講じられたい。

広陵中学校独自の生活班での人間関係のもつれが原因となっていることもあると聞いている。団結力につながるなど、生活班のメリットも大きいと考えるが、同じ生活班である期間を柔軟にすることについて検討されたい。

## 予算執行状況

適切に執行されていた。

## その他

特になし。

## 南保育園

### 今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

保育業務の合間に、事務業務を行うことになるが、勤務時間内に事務業務が終わらないことが多いとのことであった。事務の効率化や分担について検討が続けられているが、人手不足もあって厳しい様子が見えかけた。

登園システムの導入により、ペーパーレスが進んでおり、事務についても効率化が進んできているとのことであった。園生活の様子も写真や動画で保護者に伝えることができるようになり、保護者からも好評とのことであった。

### 前年度の課題への対応

令和7年度の閉園に向けて、同じく閉園となる東小学校附属幼稚園やこども課と協議して計画的に準備を進められていることが見えた。  
また、閉園により、新しい園に転園となる児童や保護者の不安を最小限に留められるよう、引き続き周知説明に努められたい。

熱中症アラート指数が高かったことにより、外遊びに制限がかかる日も多かったが、外には出られない日も工夫により、子どもたちの豊かな体験を提供できたとのことであった。

### 予算執行状況

適切に執行されていた。

### その他

特になし。

## 東小学校附属幼稚園

### 今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

主任教諭（管理職）が今年度から担任を持つようになり、事務仕事の分担について難しくなっている。

また、園児の減少に合わせて、昨年度より職員が2名減となっているが、行事等の園の運営としては、園児数が減っても業務量が変わるわけではなく、さらに預かり保育のニーズの高まりにより、運営としては昨年度より厳しい様子がかげえた。

令和6年4月から東小学校の学童に1室貸している。お互いの安全確保のために協議を重ねられた結果、スムーズに運営できているとのことであった。

### 前年度の課題への対応

担任が1人であるクラスもあり、研修等への参加の際に職員が少なく苦勞されていることがうかがえた。

令和7年度の閉園に向けて、同じく閉園となる南保育園やこども課と協議して計画的に準備を進められていることがうかがえた。

また、閉園により、新しい園に転園となる児童や保護者の不安を最小限に留められるよう、周知説明に努められたい。

### 予算執行状況

適切に執行されていた。

### その他

特になし。

## 都市整備課

### 今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

道路、公園、水路などの維持管理についての住民要望は多様化してきており、令和5年度としては88件の要望書を受領したとのことである。シルバー人材センターや地元の区・自治会と連携しながら、優先順位をつけながら順次対応されているとのことであるが、年々地元要望は増えてきている現状であり、維持管理の方法について検討が必要であるとのことであったため、今後、研究・検討に努められたい。

### 前年度の課題への対応

今年度の国費等の補助事業の執行については約60%が執行済みであるなど、概ね順調に事務執行されていることがうかがえた。引き続き、残りの事業についても繰越しが生じないようにスケジュール管理を徹底されたい。

地元からの維持管理の要望への対応については、シルバー人材センターが近年人材不足となっていることから、民間事業者による包括管理の手法についても現在研究されているとのことであった。引き続き検討を続け、住民にとって住みよい広陵町となる方法を取られたい。

### 予算執行状況

適切に執行されていた。

### その他

特になし。

## 図書館

### 今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

リクエスト図書への対応は、購入か他の図書館から借りることで、可能な限り全てに対応できるよう努めておられる。

町民の学習施設としての機能を果たしつつ、町外の方も参加できるイベントを多数開催するなど、町の魅力発信の拠点としての役割も果たされていることがうかがえた。

町公式LINEアカウントを中心としたイベントの情報発信により、普段図書館と関わりがない層への情報発信にも努められたい。

前述のように町外への町の魅力発信拠点としての役割など現在の図書館の目指すところに合わせ、図書館条例における設置目的の改正も検討されたい。

### 前年度の課題への対応

利用促進イベントについては参加者も増えており、利用者それぞれのニーズにあった利用増進ができていることがうかがえた。

まちじゅう図書館についても現在7カ所で実施しており、取組についても認知されてきている。

学校図書室との連携で児童・生徒による図書館利用者新規登録が増えてきており、新規登録者数について前年度より増えているとのことであった。

### 予算執行状況

適切に執行されていた。

### その他

夏季の館内の高温対策に関して、抜本的な改善に向け、空調設備の更新について今後予算要求されたい。

## 総務課

### 今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

公用車事故は令和5年度は5件発生し、令和6年度上半期は2件発生しているとのことであった。気の緩みが原因となったものであるため、研修等の実施により、今一度公用車運転時の安全運転意識の醸成に努められたい。

### 前年度の課題への対応

新しい文書管理システムにおける職員からの要望等について、適宜システム会社へ要望しており、適切に対応できているとのことであり、新文書管理システムでの初めての文書置換作業についても、問題なく完了しているとのことであった。

出先機関の職員が役場本庁舎に出向く負担軽減等を目的として公印の押印省略を進めておられる。引き続き、行政事務の省力化に努めるとともにペーパーレスの推進に努められたい。

### 予算執行状況

適切に執行されていた。

### その他

特になし。

## 安全安心課

### 今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

今年度も区役員、消防団、協定締結業者等と連携して地域防災訓練を実施し、職員防災訓練としてシェイクアウト訓練を実施するなど、前年に引き続き、防災意識の醸成に努められていることがうかがえた。

避難行動要支援者支援プランについては、今年度も同意者名簿の更新が済み、各団体に提供されており、地域との連携を深めつつ事業執行されていることがうかがえた。現在の作成率は7割ほどであり、引き続き、地域との連携を深められたい。

### 前年度の課題への対応

以前から民間事業者と避難者輸送について協定を結ばれており、令和6年3月1日に新たに民間特別養護老人ホームと福祉避難所の協定を締結されるなど、民間事業者との連携に努められていることがうかがえた。

### 予算執行状況

適切に執行されていた。

### その他

特になし。

## 保険年金課

### 今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

令和6年12月2日をもって保険証の新規発行が終了し、今後はマイナンバーカードまたは資格確認書により医療機関を受診することになるとのことであった。住民の混乱なきよう、十分な制度説明及び周知に努められたい。

令和6年8月からは、福祉医療費の助成方法である現物給付方式の対象者が、未就学児のみから18歳に達する日以後の最初の3月31日までの子どもに引き上げられており、対象者に対して遅滞なく受給者証を交付されている。

### 前年度の課題への対応

県単位化に伴って、令和6年3月議会にて県内統一の保険税率となるよう税率改正を行い、令和6年度で大阪府と並んで全国初となる県内統一となっている。

産前産後の保険税軽減措置については、令和5年12月議会に条例改正を行うとともに、被保険者からの申請漏れがないよう国保に関わらず出産された全員の方を確認し、対応しているなど、被保険者にとっての不利益がないように丁寧な対応をされていることがうかがえた。

### 予算執行状況

適切に執行されていた。

### その他

特になし。

## 住民課

### 今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

令和7年4月1日から窓口手数料200円から300円に改正となる。現在は本庁舎及び各公共施設に掲示及びホームページや広報紙に掲載することで周知を行っているとのことであった。引き続き、住民の混乱なきよう周知に努められたい。

窓口DX SaaS運用について、書かないワンストップ窓口での一部の証明書等の発行業務を来年2月から開始することに向けて、手続き等の見直しや、窓口の事務機器の配置等進めておられるとのことであった。住民の利便性向上のため、遅滞なく進められたい。

### 前年度の課題への対応

死亡に関する役場での手続きを一括して行うことができる窓口「おくやみコーナー」について、令和5年12月より開設しているが、利用率は徐々に増加しており、利用者からは、「一度に手続きができるので助かる」と好評を得ているとのことであった。

マイナンバーカードの申請・受取は順調に進んでいるとのことであり、更新時期を迎える方については、お知らせの封筒によって更新手続きを促されている。引き続き、普及率向上に努められたい。

### 予算執行状況

適切に執行されていた。

### その他

特になし。

## 広陵町・香芝市共同中学校給食センター協議会

### 今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

アレルギーのある生徒が増えてきており、対応に苦慮されているものの、教育総務課及び学校と連携し、問題が起こらないような体制づくりがなされていることがうかがえた。

毎月の食育の日のテーマメニューとして給食を提供しており、令和6年度は日本全国味めぐりをテーマとして給食の提供を行っている。また、リクエスト献立としてアンケートによる上位のメニューを提供するなど、給食に対する興味を持ってもらうために様々な取組を実施しておられることがうかがえた。

### 前年度の課題への対応

広陵2校の残食率について、令和4年度は12.3%、令和5年度は10.8%、令和6年度上半期においては9.2%と、徐々に減ってきているとのことであった。引き続き、各校の残食率の状況を研究し、対策について検討された。

食材物資等の物価が高騰してきており、予算内での執行について苦慮されているものの、献立の工夫等により、予算内でやりくりされている。

### 予算執行状況

適切に執行されていた。

### その他

特になし。

## 地方自治法第199条第7項に基づく財政支援団体等監査結果

### 1 定期監査執行期日及び監査の対象

監査年月日	監査の対象
令和6年10月30日	社会福祉法人広陵町社会福祉協議会

### 2 監査の場所

社会福祉法人広陵町社会福祉協議会

### 3 監査の範囲

令和5年度の財政援助に係る出納その他の事務執行状況

### 4 監査の方法

財政援助団体から提出された監査資料に基づき、経営状況の把握・補助金執行状況及び会計処理上の責任体制は確立されているか等について監査を実施した。

### 5 監査の結果

経営状況・補助金執行状況及びその他の事務執行について適正であることを確認した。

当協議会においては、経理区分として「法人運営事業」「地域福祉事業」「町受託事業」「共同募金事業」「福祉資金貸付事業」を設け、町からの補助金は人件費補助として「法人運営事業」「地域福祉事業」に充てているとのことである。

町の受託事業について、積極的に受託されており、令和5年10月からは、新たに広陵元気号自家用有償旅客運送予約システムオペレーター業務を受託されており、大きな問題もなく順調に事業執行できているとのことであった。

引き続き、町との密接な連携を図られたい。

また、事業を執行していくなかで、人員不足を感じておられるとともに、地域での協力体制が希薄となっている現代にあって、その部分を補う登録ボランティアの不足、民生委員、地域福祉委員のなり手不足などにより困難を極めている様子もうかがえる。

引き続き、町民ニーズを積極的に汲み取れる体制強化に取り組まれたい。